

「第二回大槌町植樹会と東日本大震災慰霊の旅」報告

2014年4月20日 大滝順治

総勢 15 名で 4 月 18 日～20 日「第二回大槌町植樹会と東日本大震災慰霊の旅」に行っていました。小雨の降る中、池袋駅西口を 9 時 30 分に出発し、岩手県釜石市駅前に 19 日 6 時 50 分定刻に到着。昨年より 1 カ月早かったこともあり、肌寒い旅でした。今年も一関自動車学校のご協力をいただき、斎藤教官様の運転で初期の計画通り無事目的を達成できましたことを、関係者の皆様に感謝いたします。

以下、時系列的に報告いたします。



7 時 50 分ごろ釜石市の新たな慰霊施設（NHK テレビでは釜石の悲劇として報道された）旧施設は 200 名余りが亡くなられた元防災センター内にあったが、それを取り壊し新たに静岡市（県）が寄贈した施設になっていた。（悲惨極まりない悲劇の象徴）



旧大槌町役場



仮慰霊施設

地震発生直後、役場二階で緊急幹部会を開いていたところを津波に襲われ、町長以下 40 名ほどが亡くなられた。これも悲劇の象徴である。

大槌町「平成の杜」植樹会 600人で5000本の植樹



植樹の神様、宮脇昭先生を囲んで



植樹会開会式



ユーモア溢れる宮脇先生の指導



タブノキを植えた湘南支部の会員



県立大槌高等学校の吹奏楽部



左側植後 2 年の木 右側は 1 年の木。殆どの木が順調に育っています。

植樹会は宮脇先生の指導で楽しく有意義に行われました (9:30~12:30)

主催：横浜ゴム(株) 共催：大槌町、(株)竹中土木、竹中土木、日本ゼオン(株)、



三陸海岸復興国立公園 浄土ヶ浜 一時の観光を楽しみました。

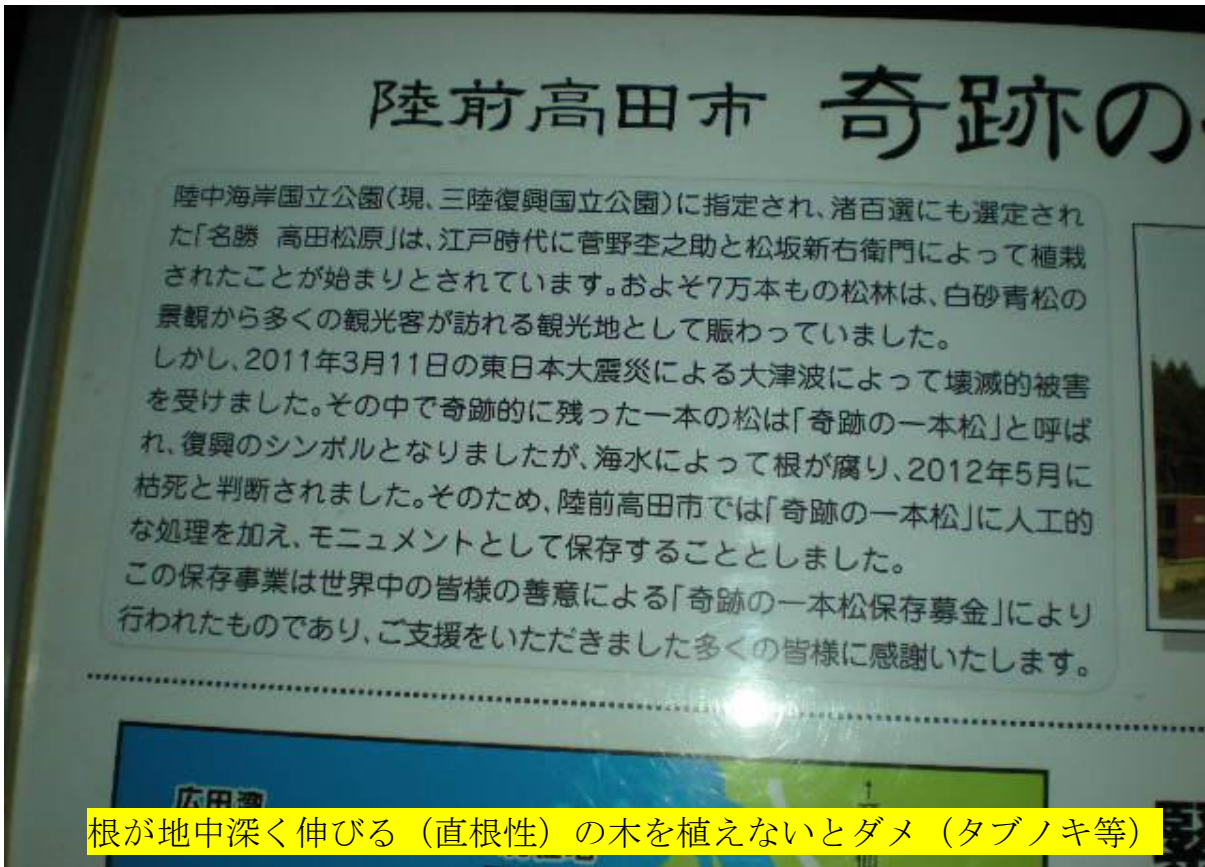
陸前高田市 (17:30~19:20)



右後ろに奇跡の一本松 (モニュメント)



3か所の慰霊施設に花を供えました。



根が地中深く伸びる (直根性) の木を植えないとダメ (タブノキ等)



(21:10~21:30)

中央の方は釜石市の防災センターで奥様と間もなく生まれるはずであった妊娠9カ月の娘 (胎児) を亡くされた方。

「3年経ってどのように過ごして居られますか？」の質問に、「今は一人で住んで居ります。思いはつのるばかりです…」と語っておられました。